

昭和57年度 和歌山県文化奨励賞

なか ぬま よう こ
中 沼 洋 子

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：大阪府大阪市

生 年：昭和6年

■現在

(社)日本バレエ協会関西支部運営委員

(社)現代舞踊協会会員

「中沼洋子バレエアート」主宰

◎業績及び経歴

幼少の頃、母に連れられてバレエ研究所に通う。

戦後、モダンダンス、クラシックバレエに本格的にとりくみ、昭和30年バレエ教室を開き、バレエを多くの人々に知ってもらうため努力する。

昭和47年及び48年、全国舞踊コンクール(東京新聞主催)現代舞踊の部において研究生を入賞させ、昭和53年には4人を入賞、その後、55年、56年にも入選、入賞を果たしている。

昭和54年より、関西バレエ芸術劇場に毎年出場する他、創作による関西バレエフェスティバルや関西バレエジュニアバレエフェスティバルにも出場。作品としては「プレイ」「高野の里」「越後獅子」「子供のためのエチュード」等がある。

昭和55年、和歌山市姉妹都市親善訪問としてカナダ、アメリカに海外公演。又、昭和56年和歌山県少年少女文化使節訪中団に参加公演し、中国政府要人の方々から好評を博した。

和歌山では毎年公演、発表会、他依頼公演等、多くの舞台をもつ。又、和歌山県民文化会館主催の「クリスマス・チャリティーショー」バレエ部門で昭和47年から連続参加、現在和歌山オペラ協会のバレエの練習指導にも当たる。